

感想カード（概要）

平成17年9月3日（第5回分科会会議）及びフォロー会議分

全体会について

●全体の運営方法の見通しがわからないまま、毎回、今日は何をするのだろうという感じで参加していました。これだけ多い人数が意見を出しあうのは、調整が難しいし、つい参加者としても他人に甘えてしまうことになっているように思います。でも、このタイミングで運営方法を考えるのはいいことだと思っています。

分科会について

●議論の（最終の）着地点を、わかりやすく伝えてください。問題点の提示で終わってしまいそうです。

●月2回の定例会と、たくさんのテーマを進めていかなければならないのであれば、各班のつながりが深まっていけば定例会以外に自主的な会合も積極的に持てるようになると考えます。みんなと仲良くなることが区民会議の目的ではないと思うのですが。「公平」「筋」を重んじることよりも、区民会議に参加されている皆さんの率直な意見交換をしながら絆を深めて、区の動きとすることが目的では！道筋がズレないように専門家の方々がバックアップしてくださるのでは？

●今回のグループは、外国人が地域に居住していない方や様々な職業など多種多様にわたる新しい区民と接することができ、すごく勉強になりました。障害者に対する安全なまちづくりの必要な生の声が伺えました。

●《フォロー会議参加者》終了後、帰宅後もいろいろ考えました。“安全・安心”もコミュニケーションにも共通して、区民の生活の安定化（特に経済的）の討議なしには進められないと考えました。基盤充実がはかられてこそ、防災、治安など安全・安心への関心も高まるのではないかと。自助努力は、いわれるまでもなく必要ですが、生活安定化の施策が講じられることが10年、20年後の区民の安全安心の布石になるのではないのでしょうか。識者、区側の感想的意見が聞きたいと思います。

その他（自由意見など）

●本日、受付で班の組み換えについてブーイングの声を耳にしました。私も違和感を覚えました。広く浅く触れ合い、広く浅い情報発信が、公平に意見を聴く姿勢になるのでしょうか？せっかく出会い、情報交換を率直にできるようになったかしら・・・と楽しみにしていましたら、またメンバーが変わりました。せっかく専門家の先生方がいらっしゃるのですから、出会いを楽しみに安心して言いたいことが言えて、参画できた！という実感を持てるように先生方が方向性をまとめていく・・・と言うことの方が、と思えました。このままでは、私は親しくおつきあいできる人が、誰もいない、できなかったで終わってしまいそうです。前回がんばって発表された委員の方はどこに行ってしまったのかしらと。もっともっと、同じメンバーでディスカッションして道を探りたかったです。

●私たちが、まだまだ知らない事がたくさんある。

●多くの方のご意見を伺う機会を持つためには、テーマ別に班が代わり、最終的に「区の未来」を皆で共有して提言ができればと思いました。